

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名	No. 740605	職員健康診断事務	主管課名	職員課						
	この事務事業の位置	政策	その他		課長名	酒井 喜市					
		施策	その他（体系外）								
		基本事業	その他								
	(1)事業の概要										
	職員を対象に健康診断を実施し、適正な健康管理を行なう。 《健康診断概要》 ・一般健康診断（35歳未満常勤職員、一般非常勤、臨時職員） ・人間ドック（35歳以上の常勤職員、再任用職員） ・B型肝炎抗体検査、インフルエンザ予防接種（医療職）				(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
					名称	単位					
					常勤職員の延受診者数	人					
					非常勤職員のうち受診者数	人					
					その指標						
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		健康診断の取りまとめ 受診結果のまとめ		医療機関に依頼 再検査対象者受診通知	日程調整 再検査結果提出						
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
常勤職員 健診受診対象となる非常勤職員				名称	単位						
				常勤職員数	人						
				健診受診対象となる非常勤職員数	人						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)				(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
病気の早期発見早期治療により長期病休者を減らす				名称	単位						
				病休者率（長期病休者数/常勤職員数）	%						
				病休者率（非常勤職員長期病休者数/非常勤職員数）	%						
(4)結果(上位基本事業の意図)				(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
(空欄)				名称	単位						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		人	434	490	488	490	487	482			
		人	255	258	260	260	260	260			
(6)の対象指標		人	493	495	488	490	487	482			
		人	255	258	260	260	260	260			
(7)の成果指標		%	0.6	1.2	0	0	0	0			
		%	0	0	0	0	0	0			
(8)の結果の成果指標											
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	09
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	9,954	9,988	11,955	11,955	12,178	12,178			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	18	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	9,936	9,988	11,955	11,955	12,178	12,178			
人件費 B		千円	1,051	1,187	1,187	1,187	1,187	1,187			
正職員従事時間×人数		時間×人	93 × 3	80 × 4	80 × 4	80 × 4	80 × 4	80 × 4			
正職員以外の人件費		千円									
その他費用 C		千円	70	138	138	138	138	138			
トータルコスト A+B+C		千円	11,075	11,313	13,280	13,280	13,503	13,503			
単位あたりコスト		千円/ 人	22	23	27	27	28	28			
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/ 人	43	44	51	51	52	52			

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	740605 職員健康診断事務
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和47年頃 から		要治療や要再検となる職員が多く、例年同じ内容で要再検となっている職員もあり、職員一人ひとりの健康管理の充実を図っていく必要がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
労働安全衛生法により健康診断が義務付けられたため。			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化した内容	精神的疾患を患う職員が増えてきた。

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	根拠法令	労働安全衛生法第66条	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	理由	
		結びつかない			
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	拡大	内容
		できない	縮小		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	追加	内容
		できない	拡充		
		絞込み			
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容	
多少影響がある					
影響はない					
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	事業主が行う健康診断のみですべての病気が防げるわけではない。健診の結果治療のため病気休暇を取得する場合も想定される。		
	できない				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	庁内事業	類似事業名		
ない	庁外事業	類似事業との再編の可能性	ある		
ない			内容		
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	内容			
ない					
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	内容			
ない					
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容		
	ない	検討が必要			
受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						